

# 日ごろの備えを十分に！

## まずは家族で話し合いを

自然災害はいつ起こるかわかりません。災害時にどうすればよいか、次のことなどについて家族で事前に話し合っておきましょう。

- ・避難場所やそこまでの経路の確認（市の指定避難場所は9～11ページに掲載）。※河川の氾らんなどで避難場所に安全に避難できない場合があるので、自宅や職場の近くに一時的に避難する場所も決めておく。
- ・家族どうしの連絡方法や集合場所を決めておく。

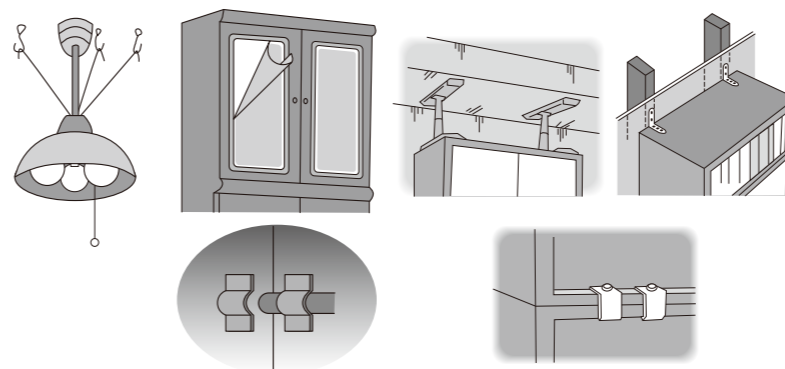


## 家屋やその周囲の

### 確認と対策

- ・消火器や救急箱のほか、乾パン・缶詰・栄養補助食品等の非常食や飲料水（いずれも3日分を目安）、懐中電灯、携帯ラジオ、予備の電池、衣類、現金などの非常持出品を準備する。また、これらの置き場所を決めておく。
- ・災害が起きたときに、誰が何を担当するかなどの役割分担をしておく。

- ・家屋の窓や屋根、雨どい、外壁などを点検し、壊れているところがあったら修理をする。ブロック塀や門柱の確認も忘れずに。
- ・金具や支え棒を利用して、地震による家具などの転倒や落下防止をする。また、ガラスには飛散防止フィルムをはり、開き戸にはとめ



ムをはり、開き戸にはとめ金具をつけておくことも必要。照明器具はチェーンと金具を使って、数箇所止めておく。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。

# 被害を最小限に抑えるために

## 気象情報などは最新情報を把握する

大雨や台風、津波などのときに発表される注意報や警報のほか、震度4以上の揺れが予想されるときに発表される緊急地震速報は、各地域の住

民の皆さんに注意を呼びかけ、災害による被害を最小限に食い止めることを目的としています。注意報は災害が起こるおそれがあるとき、警報は重大な災害が起こるおそれがあるときに、それぞれ発表されます。

テレビやラジオなどで伝えられる気象情報や注意報・警報などで、最新の情報を得るようにしましょう。

なお、市や県では主に次の方法で市民の皆さんに情報を提供します。

- 防災行政無線による放送
- 熊本県防災情報メールサービス・・・次のホームページにアクセスし、案内に従って登録してください。  
<http://www.anshin.pref.ku-mamoto.jp/>
- 熊本県統合型防災情報システムホームページ  
<http://www.bousai.pref.ku-mamoto.jp/>
- 天草ケーブルテレビの市民チャンネルによる災害情報の放送（同テレビ加入世帯のみ）

## 「土砂災害警戒情報」を防災行政無線でお知らせします

熊本地方気象台と熊本県では、大雨警報発表中に土砂災害の危険性が高まったときに、住民の自主避難などの参考になるよう『土砂災害警戒情報』を発表します。

市では、『土砂災害警戒情報』が発表されたときに、市民の皆さんにいち早く情報をお伝えるため、深夜など時間帯を問わず、防災行政無線でお知らせすることとしています。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

なお、『土砂災害警戒情報』は、市内10地域を「東部（本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和）」と「西部（牛深・天草・河浦）」に分けて発表されますが、防災行政無線でのお知らせは、危険性が高まっている地域のみに行います。



## 地域ぐるみで災害に立ち向かおう！ ～自主防災組織への参加を～

自主防災組織は、住民どうしが協力して自発的につくる“地域ぐるみで防災活動を行う組織”です。市には現在、各行政区や地区を単位として167の組織が結成されています。

お住まいの地域に自主防災組織があるかどうかは、本庁・防災交通課へお尋ねください。

皆さんも、自主防災組織の活動に進んで参加するようにしましょう。

### 地域の力をいかして



村区自主防災会（栖本町）  
濱田秀夫会長

村区自主防災会は、栖本町の村区（145世帯・住民423人）を単位とする自主防災組織で、平成16年に結成しました。

私たちの組織では、防災の体制づくりとして、災害が発生したときなどに全世帯に電話連絡ができる“災害体制連絡表”を整備しています。また、さまざまな想定に基づいた避難訓練も実

施しています。避難訓練などで真剣に取り組む住民の姿勢を見ていると、災害に対する意識や地域ぐるみでの防災意識が、ずいぶん高まってきたように感じています。

今後も、住民が一丸となり、助けあい、支えあいという“地域の力”をいかして、防災活動に取り組んでいきたいですね。

## 市作成のパンフレットを活用しましょう

### 天草市防災マップ(各地域版)

- 河川浸水想定区域、土砂災害の危険がある箇所、土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所を色分けして掲載。
- 避難所  
各地域の第1次、第2次避難所を掲載。
- 災害時の基礎知識  
マップ（地図）だけではなく、防災についての役立つ情報も掲載。



### 地震対策のしおり

- 揺れやすさマップ  
市内各地の地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から、揺れやすさを震度として評価したものを色分けして掲載。
- 危険度マップ  
市内各地の建物の状況に応じて、想定される地震により建物被害が発生する危険度の度合いを色分けして掲載。※個々の建物の危険度を示したものではありません。



これらのパンフレットは、市内の全世帯に配布しているほか、本庁・防災交通課や牛深支所・総務振興課、その他の支所・総務市民課に備え付けてあります。また、市のホームページでもご覧いただけます。